

インプラント希望の患者さんへ

インプラント治療は、人工歯根を顎骨の中に植え込み、失った歯をよみがえらせる最先端の歯科技術です。天然歯に近い感覚で食事ができる画期的な治療方法ですが、同時に従来の歯科治療の概念とは異なる以下のようなことがありますのでご承知おきください。

- 1 従来の方法では、歯が無いところは両隣の健康な歯を削りブリッジにするか 着脱式の入れ歯にしかできませんでした。このインプラントは、天然の歯は全く傷つけず原則的には単独で歯を植立することができます。
- 2 骨の状態（骨質、骨量）によっては植立できないこともあります。レントゲンだけでは診断できないため、手術途中でも中止することがあります。
- 3 歯を抜く程度の外科処置をします。術後に個人差はありますが、それに伴う下顎のしびれや頬部の青あざ、腫れなどが出ることもあります。いずれも一時的なものです。
- 4 埋入手術後約3ヶ月は、骨との結合を持つため、歯を作ることはできません。その間に入れ歯などの仮の歯で補うか、何も入れない場合もあります。
- 5 インプラントの予後は最近急速に向上し、10年以上の残存率は94%以上とされています。20年以上経過している人もいます。後は、撤去して他のインプラントや義歯にすることになります。
- 6 プラークコントロール（歯磨きの正しい仕方）の優劣によって、もちかたが大きく変わります。咬み合わせ調整の為の定期検診を受けていただきます。
- 7 費用はすべて自費診療となります。人工歯根が一本につき16.5万円と上部構造物5.2万円から7.2万円8.3万円（白い歯）かかります。消費税は含みます。
- 8 インプラントの保証期間は3年間で無償で再製作します。4年目以降は20%自己負担。以後1年ごとに10%ずつ増加します。必ず6ヵ月ごとの検診をお願いします。経済的な問題が理解されれば、歯科インプラント治療は欠損補綴の第一選択の治療法になりつつあります。

以上 よく御理解のうえ治療を受けられるようお願い致します。

羽山歯科医院

Q 1 : 骨をいじるんだから治療は痛みを伴うんでしょね？

一般的な症例では局部麻酔のみで手術を行いますので、術中の痛みはほとんどないとお考えください。もしも、痛みがでた場合には、全身状態を把握しながら麻酔剤を追加できます。

清潔な環境の下で、骨の組織に対してきわめて慎重な手術を施しますので、術後の痛みは想像されるよりも軽いのが一般的です。骨自体には痛みを感じる組織が存在しませんが、骨を取り囲む骨膜や歯茎の部分にはそのようなセンサーがあります。術後の最終には縫合が伴いますので、それらの組織が引っ張られるような感じは手術当日は残るでしょう。手術直後に鎮痛剤を内服していただきますが、ご帰宅の後にもう一度、追加されるか、あるいはその必要もない症例がほとんどです。

Q 2 : インプラントは安全ですか？

まず、数多くのインプラントが臨床で応用されるようになってきました。十分な基礎的実験に基づき、長期間にわたってその安全性や有効性が立証されたインプラントを適切な術式で応用するならば、長期間にわたり安全にお使いいただけます。

しかしながら、きわめて稀とはいえ骨とインプラントとが結合しなかったり、何年かのうちに問題を起こすこともあります。やり直すことができます。

Q 3 : インプラントが骨と結合しなかった場合には？

人間が行うことですので、絶対に骨と結合する保証はありませんが、科学的に検討され臨床的に実績のあるインプラント方法が適切に応用されるならば、ほとんどの場合、骨と結合します。ただし、ヘビースモーカーでは非喫煙者に比較して、成績が低くなるということが知られています。

また感染を防ぐための抗生物質などを指定された時間に服用しないなど、術後の注意を守られない場合には、結合しない可能性もあります。もしも、結合しなかった場合には、いたって容易に撤去することができます。そのまま何ヶ月か放置しますと、その部分に骨が再生されますので、そこに再度、埋めることができます。また、骨の量が十分な部位では、撤去と同時にやや大きめのインプラントを埋入できます。

Q 4 : インプラントは何年もちますか？

今日の科学的なインプラントを確立したスウェーデンのブローネマルク教授は、数年にわたる動物実験を経て、1965年から臨床応用を開始しました。それ以来、世界中で100万人以上の患者さんがこの方法で治療を受けられて、きわめて良好な結果を残してきました。インプラント周囲の骨の状態を一定の条件で毎年追跡した研究によると、機能状況下の骨が年を経るにしたがい、ますます安定していくことが分かりました。適切な清掃など患者さんの協力が得られるのならば、10年、20年あるいはそれ以上の長期にわたって、お使いいただけるものと思います。